

平成29年7月20日

夏まご (火蟻) ひまご

保護者の皆様

鳴門教育大学附属小学校
校長 安田 哲也

ヒアリに関する対応について (お願い)

盛夏の候、保護者の皆様には、ますますご健勝のことと拝察いたします。

さて、さまざまな報道でご存じのように、特定外来生物に指定されているヒアリが日本各地で確認されています。これを受けて、昨日、文部科学省より、環境省が作成した「ヒアリに関する啓発チラシ『ヒアリ (火蟻) に注意』」の内容を児童及び保護者に周知するよう依頼がありました。

チラシには、ヒアリの見分け方、特徴、発見時の対応、刺されたときの状況等が書かれています。裏面に保護者向けチラシを印刷していますのでお読みください。また、発見するようなことがありましたら、各市町村担当課へご連絡ください。

なお、お子様に対しては、児童向けチラシを配布し、学校で指導しております。

夏休みには屋外での活動も多くなるかと思えます。適切に対応いただけるよう、どうぞよろしく願いいたします。

ヒアリに関するお問い合わせ先
環境省 自然環境政策課 外来種対策室
〒100-8302 東京都千代田区千代田 1-1-1
TEL: 03-3508-3111 (受付時間: 午前9時～午後5時)

ヒアリ（火蟻）に注意

ヒアリは、これまで日本では見つかっていませんでしたが、6月以降、茨城、東京、神奈川、愛知、兵庫、大阪で見つかります（平成29年7月18日現在）。ヒアリの多くは、外国から運ばれてきたコンテナの中や、コンテナを水揚げするコンテナヤードで見つかっています。



特徴

- ・ 体長は2.5mm～6.0mmほどの小さな赤茶色のアリです。
- ・ 南米原産ですが、北米、中国、オーストラリアなどで定着しています。
- ・ 土で大きなアリ塚を作り、集団で生活します。
- ・ 攻撃性が強く、棒などで塚をつつくと、集団でワッと出てきて襲いかかります。

アリ塚

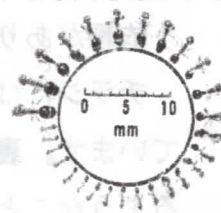


見分け方

小さいため見分けるのは難しいですが、肉眼でわかる特徴もあります。

- ・ 赤っぽくツヤツヤしている。腹部（おしり）の色は暗め。
 - ・ 働きアリの大きさは2.5mm～6.0mm。色々な大きさのアリが混じっている。
- 違う種類：黒いアリ、2.5mm以下の小さなアリ、6.0mm以上の大きなアリ

いろいろな大きさがある



お願い

ヒアリに似たアリの集団がいて、駆除をお考えの場合は、最寄りの環境省の地方環境事務所や、都道府県の環境部局にご相談ください。

ヒアリが集団でいる場合は、むやみな駆除は拡散させるおそれがあるほか、日本には在来のアリ（270種以上）がいて、生態系の中で重要な役割を担っており、全てのアリを駆除してしまうことは、日本の生態系を壊してしまうことにつながりかねません。

S.D. Porter, USDA-ARS

もしも、アリに刺されたら

- ・ ヒアリであれば、刺された時に熱い！と感じるような激しい痛みがあります。かゆみ、腫、はれ、じんましんや、アレルギー症状が重篤な場合はアナフィラキシー症状（呼吸困難、血圧低下、意識障害）を引き起こす可能性もあります。
- ・ 異変を感じた場合は、直ちに医療機関を受診してください。